## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成28年10月31日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3470103569				
法人名	社会福祉法人IGL学園福祉会				
事業所名	グループホームゆうゆう				
所在地	広島市安佐北区安佐町後山1047番地 電話082-838-3434				
自己評価作成日	平成28年9月10日	評価結果市町受理日			

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action\_kouhyou\_detail\_2016\_022\_kani=true&JigyosyoCd=3470103569-00&PrefCd=34&VersionCd=022

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会	
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29	
訪問調査日	平成28年10月7日	

#### 【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者とスタッフが「家族のように愛し敬い支え、共に歩んでゆくグループホーム」の理念の下に、明るく楽しく助け合いながら生活しています。当グループホームで大切にしている事は、ご利用者の利用以前の生活が守られる様支援し、お一人おひとりを大切にし、尊重した声掛けをします。家庭的な雰囲気づくりと、ご家族、ご利用者、スタッフ、地域の皆様を交えた、ふれあいと絆を大切にしています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

グループホームゆうゆうは、緑豊かな山あいの団地や安佐動物公園に隣接し、自然溢れる環境の中で、木々の装いや広々とした景観に恵まれたロケーションである。 法人施設群の一角として、長年培った地域との深いかかわりや、近隣の他施設と共に風船バレーボール大会やカラオケ交流会などの合同行事を開催し、地域ぐるみでの意欲的な取り組みを継続しながら、利用者の生活動作や生活機能の改善など、ケアの質の向上に努めている。また、グループホーム内での豊富なアクティビティや、季節感を取り入れた毎月の行事をはじめ、一泊旅行や様々な楽しみを大切にしながら共有し、一人ひとりの思いに寄り添い、利用者・家族にとって我が家のような安心感のあるグループホームづくりに向けて尽力している。

白己	外部	初	自己評価	外部	評価			
評価	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容			
ΙΨ	■念に	こ基づく運営						
		〇理念の共有と実践		利用者が書いた「家族のように愛し敬				
1	1	地域密着型サービスの意義を踏まえ た事業所理念をつくり,管理者と職 員は,その理念を共有して実践につ なげている。	毎日の朝礼で管理者と職員が一緒に理 念の唱和を行い、意識しながら実践に 活かしている。	い支え共に歩んでいく」の理念を各フロアーに掲示して、利用者の尊厳を護り、家庭的な雰囲気の中でその人らしく生活できるように心がけ、毎朝礼時に唱和し、全員で共有している。				
		○事業所と地域とのつきあい		地域行事や町内清掃など、普段から地域の一員として交流している。ふれあ				
2	2	利用者が地域とつながりながら暮ら し続けられるよう、事業所自体が地 域の一員として日常的に交流してい る。	地域の行事への参加や地元のサロンへの参加を通して、地域の方々との交流を深めている。また、グループホームの行事への参加もして頂いている。	いサロン、くつろぎサロンなどにも参加し、生活行動の場を広げ、利用者への理解度も高まり、共助の関係を育んでいる。また近隣の他施設と合同で風船バレーボール大会やカラオケ交流会などを恒例行事として、地域ぐるみで楽しむ企画を重ねている。				
		〇事業所の力を活かした地域貢献						
3		事業所は,実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を,地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザー研修を受けた職員 が講習会などの場で、地域の方々に向 けて話をしている。					
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者様、ご家族様、地域の方々より 頂いた様々な意見をしっかりと受け止 め、話合い、今後に活かしていけるよ う努力している。	二か月毎に開催される当会議では、家族をはじめ、近隣地区代表者や他施設代表者など多くの参加を得て、活発発な意見交換を行っている。その中で発案は全体のケアのスキルアップでは、地ながっている。合同イベントでは、利用者、家族同士の絆も深まり、他地区でもその輪が広がってきている。				
		○市町との連携		運営推進会議への参加をはじめ、個別				
5	4	市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	インターネット、ブログ、運営推進会 議などを通して、情報のやりとりや意 見交換を行っている。	相談や情報交換をし、日頃から密に連携している。認知症アドバイザーとして職員が出向き、サポーター養成などオレンジプランに関して地域住民と交流したり、グループホーム側からも積極的に協力している。				

白己	外部	_	自己評価	外部	評価
	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密 着型サービス指定基準及び指定地域密 着型介護予防サービス指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を 正しく理解しており、玄関の施錠を含 めて身体拘束をしないケアに取り組ん でいる。	玄関は通常開放してあるが、夜間や状 況に応じて、施錠することもある。	定期的な法人研修はもとより、職員の 要望があれば個別で外部研修も受けて いる。なお、ケアミーティングで個々 のケース検討をしながら職員間で意識 を高めるなど、身体拘束をしないケア に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法 等について学ぶ機会を持ち、利用者 の自宅や事業所内での虐待が見過ご されることがないよう注意を払い、 防止に努めている。	外部研修に参加して学んだ職員による 報告及び勉強会を行っており、的確に 理解し虐待防止に努めている。		
8			外部研修、社内研修で学ぶ機会がある。理解した上で、活用できるように 努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結,解約又は改定等の際 は,利用者や家族等の不安や疑問点 を尋ね,十分な説明を行い理解・納 得を図っている。	契約は管理者が行っており、十分な説 明を行い、納得の上で契約している。		
10	6	〇運営に関する利用者,家族等意見の反映 利用者や家族等が意見,要望を管理 者や職員並びに外部者へ表せる機会 を設け,それらを運営に反映させて いる。	ご家族が来訪された時には、近況報告を行い、意見を頂き、家族会でも意見 や要望を聞き、対応するよう努めてい る。	家族や関係者にとっても、心安らぐ場所になるような訪問しやすい雰囲気づくりや、コミュニケーションを心掛け、率直な意見や要望を集約し、運営に活かしている。役に立ちたいという利用者の思いを、各々の役割分担に取り入れ、日々の生活に反映させている。	

白己	外部		自己評価	外部	評価	
評価	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容	
		○運営に関する職員意見の反映		毎月行うグループホーム内行事の委員		
11	7	代表者や管理者は,運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け, 反映させている。	毎月のケアミーティングで意見交換を 行っている。	会を設けていて、職員間で話し合い、 行事内容を検討している。職員からの 発案や改善点を次回の行事に活かした り、利用者には穏やかな対応を心が け、より良いケアに向けた支援に取り 組んでいる。		
		〇就業環境の整備				
12		代表者は、管理者や職員個々の努力 や実績、勤務状況を把握し、給与水 準、労働時間、やりがいなど、各自 が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている。	職員の生活や状況に応じて勤務を考慮 し、働きやすくなるよう整備されてい る。			
		〇職員を育てる取組み				
13		のケアの実際と力量を把握し、法人	最低年1回以上、職員の受けたい内容 の外部研修への参加が可能で、意欲の 向上に繋がっている。			
		〇同業者との交流を通じた向上				
14		代表者は、管理者や職員が同業者と 交流する機会をつくり、ネットワー クづくりや勉強会、相互訪問等の活 動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取組みをしている。	年に数回、近隣施設との共同行事があり、そこで情報交換を行っている。			
Ⅱ 安	II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、 本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人 の安心を確保するための関係づくり に努めている。	ご本人の不安感や要望を聴き、安心し て生活していただけるよう努力してい る。			

白己	外部	_	自己評価	外部	評価
	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		〇初期に築く家族等との信頼関係			
16		サービスの利用を開始する段階で, 家族等が困っていること,不安なこと,要望等に耳を傾けながら,関係 づくりに努めている。	情報の共有を行い、ご家族とも密な連絡を取り、信頼していただける関係作りに努めている。		
		〇初期対応の見極めと支援			
17		サービスの利用を開始する段階で,本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め,他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人とご家族の要望や思いを把握 し、それに合わせた支援を行っていけ るよう努めている。		
		〇本人と共に過ごし支えあう関係			
18		職員は、本人を介護される一方の立 場に置かず、暮らしを共にする者同 士の関係を築いている。	その人らしさを大切にし、日常生活でも支え合い、共に歩んでいけるような関係を築いている。		
		〇本人を共に支えあう家族との関係			
19		職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者の状況報告を密に行い、ご家族の意見や要望を取り入れながら、共に支えていけるよう努めている。		
		○馴染みの人や場との関係継続の支援		グループホーム内の書道、手芸、体操、 うたの会、仕舞クラブ、アートセラピー	
20	8	本人がこれまで大切にしてきた馴染 みの人や場所との関係が途切れない よう,支援に努めている。	馴染の場所への外出や、行事へのお誘い等いつでも面会に来て頂きやすい環境づくりに努めている。	等の豊富なアクティビティに参加する利用者も多く、それぞれのライフスタイルの一部にもなっている。ボランティアの訪問や、地元のサロンへの参加をはじめ、他施設との合同行事でのふれあいを深めながら、外部との馴染みの関係を大切に継続している。	

白己	外部		自己評価	外部	評価
評価	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し,一人ひ とりが孤立せずに利用者同士が関わ り合い,支え合えるような支援に努 めている。	個々人の個性に合わせた関わりが出 来、支えあえるよう工夫して、作業や ゲームなどの提供を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了して も,これまでの関係性を大切にしな がら,必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし,相談や支援に努め ている。	退所後も相談に来られたり、訪ねて来られる関係作りができている。		
Ш ₹	の人と	らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望, 意向の把握に努めている。困難な場合は, 本人本位に検討している。	一人ひとりとの関わりを重視し、希望 や思いを引き出し、意向の把握に努め ている。	日々の行動や表情などから、想起される個々の意向等を申送り時に共有し、 個別記録や連絡ノートに記し、身心の 状態も加味しながら、その思いを汲み 取っている。月一回のミーティングの 中でのミニカンファレンスでも、一人 ひとりの思いに向き合い、個別ケアに 活かしている。	
24		Oこれまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方,生活環境,これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人、ご家族を通して、生活歴や生 活環境の把握に努めている。		
25		<ul><li>○暮らしの現状の把握</li><li>一人ひとりの一日の過ごし方,心身状態,有する力等の現状の把握に努めている。</li></ul>	日々観察し、記録に残し、全スタッフ で共有している。		

白己	外部	_	自己評価	外部	評価
評価	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		〇チームでつくる介護計画とモニタリング		分かりやすく簡潔にまとめたケア チェックシートに日々の状況、活動等	
26	10	族,必要な関係者と話し合い,それ	ご本人、ご家族の意見や思いを取り入れ、職場リーダーや必要に応じて他職種とも話し合い、介護計画を作成している。	を記し、ミーティングで話し合い、主治医の意見を入れながら、本人、家族、関係者と協議し、ケアプランを立案している。今後の取り組みとして、皆でスタジアムの雰囲気も楽しめるカープ観戦などを、計画のひとつとして視野に入れている。	
		○個別の記録と実践への反映			
27		日々の様子やケアの実践・結果, 気 づきや工夫を個別記録に記入し, 職 員間で情報を共有しながら実践や介 護計画の見直しに活かしている。	ケアチェックシートに、日々の状態や 活動記録を記入し、周知事項は連絡 ノートにも書いて、情報を共有してい る。		
		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機 能化			
28		本人や家族の状況,その時々に生まれるニーズに対応して,既存のサービスに捉われない,柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その時々の状態の変化に、柔軟に対応 した取り組みを行っている。		
		○地域資源との協働			
29		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を 発揮しながら安全で豊かな暮らしを 楽しむことができるよう支援してい る。	地域の行事への参加や、地元のサロン への参加を通して楽しく生活できるよ う、共に支援している。		
		〇かかりつけ医の受診診断			
30	11	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ 医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援し ている。	訪問看護事業所、関係の医療機関と連 携し、ご利用者の健康管理に努めてい る。	内科は二週間毎、皮膚科は毎月一回の 往診があり、毎週一回の訪問看護と共 に健康管理を行っている。また、職員 の優しい対応や体調管理の良さは、家 族の安心につながっている。	

自己	外部		自己評価	外部	評価
評価		項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		○看護職員との協働			
31		介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎週1回、訪問看護師が来訪し、状態 の変化の報告・相談を行い、密接な連 携が取れている。		
		○入退院時の医療機関との協働			
32		利用者が入院した際,安心して治療できるように,また,できるだけ早期に退院できるように,病院関係者との情報交換や相談に努めている。 又は,そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との情報交換や相談に努め ている。		
		○重度化や終末期に向けた方針の共有と 支援		重度化した場合、その都度、家族・主	
33	12	重度化した場合や終末期のあり方に ついて、早い段階から本人・家族等 と話し合いを行い、事業所でできる ことを十分に説明しながら方針を共 有し、地域の関係者と共にチームで 支援に取り組んでいる。	必要に応じてご家族、医療関係者、訪問看護師などとカンファレンスを行い、方針を共有して支援に取り組んでいる。	当医他関係者とよく話し合い、個々の思いに寄り添ったターミナルケアに尽力し、最期までその人らしく穏やかにすごせるよう、チームで取り組んでいる。	
		○急変や事故発生時の備え			
34		利用者の急変や事故発生時に備え て,全ての職員は応急手当や初期対 応の訓練を定期的に行い,実践力を 身に付けている。	ミーティングの時などで、定期的に訓 練を行っている。		
		〇災害対策		左三同 遊院署長立と会いのまし、見	
35	13	火災や地震,水害等の災害時に,昼 夜を問わず利用者が避難できる方法 を全職員が身につけるとともに,地 域との協力体制を築いている。	消防署や地域とも協力し、定期的な訓練を行い、全職員が避難体制の確認と 方法について把握できている。	年二回、消防署員立ち会いのもと、昼 夜想定で防災訓練を行い、アドバイス を受けている。緊急時マニュアルを作 成し、集中豪雨などあらゆる事態を想 定して、地域他との協力システムを整 備している。	

白己	外部	R	自己評価	外部	評価
評価	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
IV 3	の人は	らしい暮らしを続けるための日々の支援			
		〇一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保		日々の生活の中で、一人ひとりの尊厳	
36	14	一人ひとりの人格を尊重し, 誇りや プライバシーを損ねない言葉かけや 対応をしている。	お一人おひとりを尊重した声掛けを実 践している。	を護り、声掛けのタイミングや言葉を 選び話しかけること等に留意し、優し く寄り添うケアに努めている。節度の ある親しみ方や、バランスの取れたコ ミュニケーションにも配慮している。	
		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援			
37		日常生活の中で本人が思いや希望を 表したり, 自己決定できるように働 きかけている。	ご利用者の要望を聴き、日常生活で活かし、自己決定できるよう支援している。		
		〇日々のその人らしい暮らし			
38		職員側の決まりや都合を優先するのではなく,一人ひとりのペースを大切にし,その日をどのように過ごしたいか,希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にし、ご本 人の希望に沿った生活を送っていただ けるよう支援している。		
		○身だしなみやおしゃれの支援			
39		その人らしい身だしなみやおしゃれ ができるように支援している。	洋服や髪形、化粧など、自分自身で選択して頂いている		
		〇食事を楽しむことのできる支援		食事を生活の大切な要素と捉え、盛り 付けや配膳を一緒に行ったり、柏餅づ	
40	15	食事が楽しみなものになるよう,一人ひとりの好みや力を活かしながら,利用者と職員が一緒に準備や食事,片付けをしている。	ご利用者と一緒に準備や片づけを行い、食事も一緒にすることで、味の好みや好き嫌いを把握し、アレルギー食品に対しては代替え品の準備もしている。	りいや配暦を一緒に行ったり、柏餅づくりやテラスでのバーベキューなど、季節に合わせたメニューを共に楽しみ、敬老会や忘年会等のイベント毎で、飾りつけや献立に細やかな工夫をしている。各フロアー毎の外食ドライブには全員で出かける等、皆で楽しく食事をする機会を設けている。	

自己	外部		自己評価	外部	評価
評価	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		〇栄養摂取や水分確保の支援			
41		食べる量や栄養バランス,水分量が 一日を通じて確保できるよう,一人 ひとりの状態や力,習慣に応じた支 援をしている。	栄養士によるメニューと、個々に合っ た栄養バランス、水分の工夫や摂取量 の把握を行っている。		
		〇口腔内の清潔保持			
42		口の中の汚れや臭いが生じないよう,毎食後,一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアの声掛け、介助と、 毎晩の義歯の消毒洗浄を行っている。		
		〇排泄の自立支援		普段の活動的な生活の積み重ねにより、水差の火しが見られた。	
43	16	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	行動を観察しながら、声掛け、介助を 行っている。	り、改善の兆しが見られたケースもあり、自立に向けた支援をしている。夜間もトイレでの排泄を促している。紙パンツやパット対応の利用者もいるが、パターンやタイミングを見計らってトイレ誘導している。	
		○便秘の予防と対応			
44		便秘の原因や及ぼす影響を理解し, 飲食物の工夫や運動への働きかけ 等,個々に応じた予防に取り組んで いる。	個々の排便状況を把握し、できるだけ 水分や運動による自然排便を促してい る。		
		〇入浴を楽しむことができる支援			
45	17	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように,職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに,個々に応じた入浴の支援をしている。	希望に応じて入浴して頂けるよう、利 用者様の意思を尊重している。	午後から毎日でも入浴可能で、なるべく希望に沿った対応をしている。リラックスと共に職員とのコミニュケーションの場として入浴支援している。	

自己	从实	_	自己評価	外部	評価
評価	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		○安眠や休息の支援			
46		一人ひとりの生活習慣やその時々の 状況に応じて、休息したり、安心し て気持ちよく眠れるよう支援してい る。	状況に応じて休息や睡眠がとれるよう、環境整備を行っている。		
		〇服薬支援			
47		一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用,用法や用量について理解 しており,服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている。	状態の変化など観察を行い、変化のあるときには、医師や訪問看護師とすぐ 連絡が取れるような体制ができてい る。		
		○役割、楽しみごとの支援			
48		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように,一人ひとりの生活歴や力を活かした役割,嗜好品,楽しみごと,気分転換等の支援をしている。	ドライブや買い物、クラブ活動や地域 活動への参加など、個々に合わせた楽 しみや、気分転換をしていただけるよ う工夫している。		
		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ		自然豊かな立地でもあり、森林セラ ピーさながらの外気浴を日常的に楽し	
49	18	て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援してい る。	散歩や日光浴は日常的に、一泊旅行や 外食ツアーなども企画して普段行けな いような場所にも行けるよう支援して いる。	んでいる。花みどり公園などでのお花見、宮島サービスエリアへのドライブ、湯来温泉への一泊旅行など家族・職員共々で楽しい企画を立て外出の機会を積極的に設けている。	
		〇お金の所持や使うことの支援			
50		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自分で管理されている方もおられ、買い物に行ったときには自分で払って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		○電話や手紙の支援			
51		家族や大切な人に本人自らが電話を したり,手紙のやり取りができるよ うに支援をしている。	電話の使用の支援や、手紙のやり取り など希望に沿った支援を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関,廊下,居間,台 所,食堂,浴室,トイレ等)が,利用 者にとって不快や混乱をまねくような 刺激(音,光,色,広さ,温度など) がないように配慮し,生活感や季節感 を採り入れて,居心地よく過ごせるよ うな工夫をしている。	共用空間には季節の花を飾ったり、クラブ活動の作品の展示を行い、居室では、ご本人がゆっくり快適に過ごして頂けるよう工夫している。	玄関には四季折々の花を飾り、開放感があり、ゆったりとした食事や談話室には利用者の絵画や習字、手作り作品が並び、家庭的で和やかに寛げるスペースとなっている。また、一階のテラスではベンチを配置し、景色を眺めながらの気分転換や、時にはバーベキューを楽しむなど、憩いの場となっている。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所 づくり 共用空間の中で、独りになれたり、 気の合った利用者同士で思い思いに 過ごせるような居場所の工夫をして いる。	ご利用者の性格を把握し、各テーブルで会話ができたり、新聞を読んでゆっくりできる工夫をしている。		
54	20	ものや好みのものを活かして,本人 が居心地よく過ごせるような工夫を している。	ご家族と相談しながら、ご本人の馴染 みの家具や写真を飾り、居心地良く生 活ができるよう工夫している。	居室にはミニキッチン、トイレ付で、 バルコニーも備えられ、快適に暮らせ るような造りとなっている。お気に入 りの品々や懐かしい写真などを飾り、 それぞれの思いを尊重した個々の配置 で、その人らしく落ち着いて過ごせる よう配慮している。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境で くり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして, 安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している。	自立に向けて、共用設備には分かりや すい表示を行い、安全に、安心して生 活して頂けるよう工夫している。		

∇ アウ	V アウトカム項目				
		0	①ほぼ全ての利用者の		
<b>50</b>	MB4 100 2 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		②利用者の3分の2くらいの		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。		③利用者の3分の1くらいの		
			④ほとんど掴んでいない		
		0	①毎日ある		
			②数日に1回程度ある		
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		③たまにある		
			④ほとんどない		
			①ほぼ全ての利用者が		
ΕO	TIPETAL LANGUAGE TOTAL	0	②利用者の3分の2くらいが		
58	利用者は,一人ひとりのペースで暮らしている		③利用者の3分の1くらいが		
			④ほとんどいない		
			①ほぼ全ての利用者が		
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	0	②利用者の3分の2くらいが		
59			③利用者の3分の1くらいが		
			④ほとんどいない		
			①ほぼ全ての利用者が		
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている		②利用者の3分の2くらいが		
00		0	③利用者の3分の1くらいが		
			④ほとんどいない		
		0	①ほぼ全ての利用者が		
61	  利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		②利用者の3分の2くらいが		
01	竹川石は、		③利用者の3分の1くらいが		
			④ほとんどいない		
		0	①ほぼ全ての利用者が		
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して		②利用者の3分の2くらいが		
UZ	暮らせている		③利用者の3分の1くらいが		
			④ほとんどいない		
	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いて		①ほぼ全ての家族と		
63		0	②家族の3分の2くらいと		
00	おり, 信頼関係ができている		③家族の3分の1くらいと		
			④ほとんどできていない		

			①ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来て		②数日に1回程度
65	เงอ		③たまに
			④ほとんどない
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	l	①大いに増えている
65			②少しずつ増えている
0.5			③あまり増えていない
			④全くいない
	職員は、活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
66			②職員の3分の2くらいが
00			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	①ほぼ全ての利用者が
67			②利用者の3分の2くらいが
67			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思 う		①ほぼ全ての家族等が
68			②家族等の3分の2くらいが
00			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

# 2 目標達成計画

事業所名 グループホームゆうゆう — 平成28年11月16日 作成日

【目標達成計画】

	ゴボた	<b>É</b> 及計画】			
優先順位	項目番号	現状における 問題点, 課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	49	ト等常に行っているが 利用者の希望に叶って		日常会話の中から、その人の好きな事、行きたい所、逢いたい人、 やってみたい事等掘り起し実現する。	28. 12月 ~ 29年12月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

- 注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。 注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。